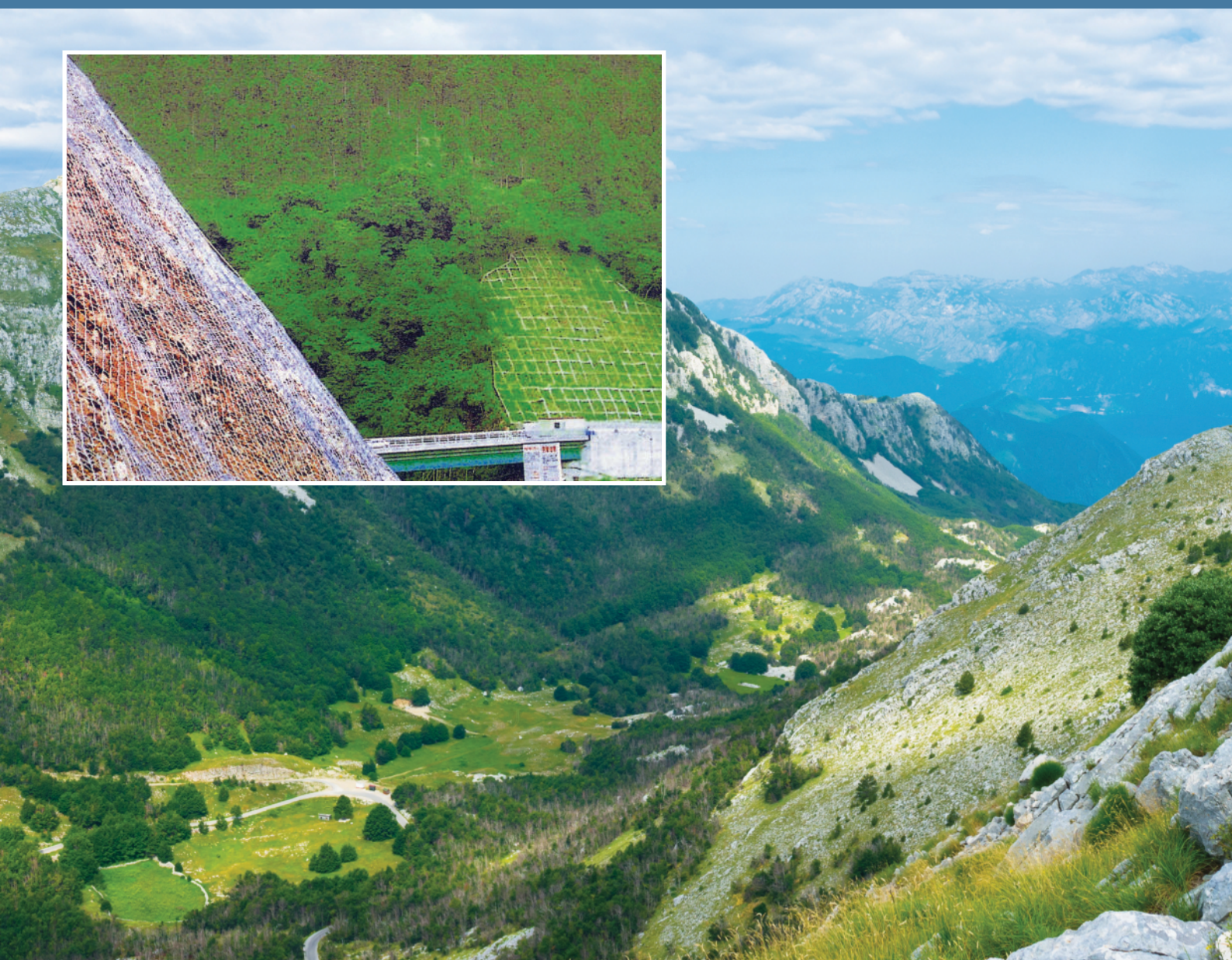


KOIWA

ひし形金網 法面工事用ラス



優れた性能と信頼の品質で法面工事をバックアップ

用語の定義

種類及び記号

形状・寸法及びその許容差

- **列線** 金網の形成単位となる、一定のピッチで山形に折り曲げ加工された一本の線。
- **ひし型金網** 列線を互いに絡ませて、平行四辺形の網目を形成する金網。

種類	記号	適要	
亜鉛めっき鉄線 (S) 製ひし型金網 (Z種)	ZS2種	Z-GS2	JIS G 3547 の SWMGS-2 を用いたもの
	ZS3種	Z-GS3	JIS G 3547 の SWMGS-3 を用いたもの
	ZS4種	Z-GS4	JIS G 3547 の SWMGS-4 を用いたもの

1 線径

- 寸法 (mm) : 2.00
- 許容差 (mm) : ±0.05

2 網目寸法

網目寸法は、【図-1】に示すように、列線で囲まれた空間四辺形の一片の長さとし、網目寸法及びその許容差は次の表のとおりとする。

寸法 (mm)	許容差 (%)
50	±3

3 幅 (基本寸法 2 m)

幅は、【図-1】に示すように、列線の端から端までの距離を表し、その許容差はマイナス側は0とし、プラス側は1網目寸法に相当する長さとする。また、有効幅は列線の端から端までの山形の間寸法をいう。

4 長さ (基本寸法 10 m)

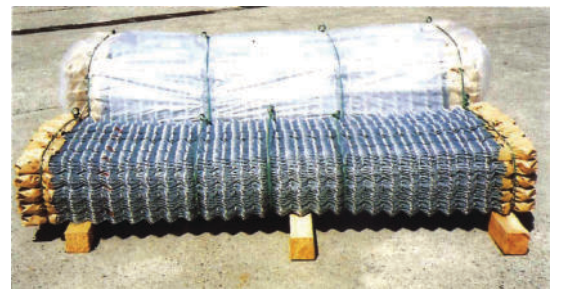
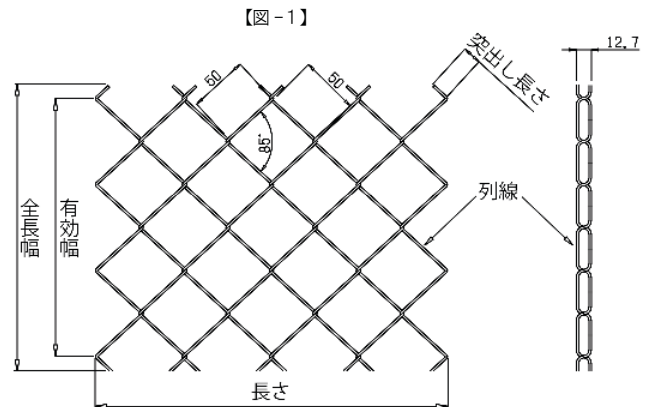
長さは【図-1】に示すように、平面上に張り広げた列線の端から端までの距離で表し、その許容差はマイナス側は0とし、プラス側は列線2本分以内とする。

5 突出し長さの寸法

突出し長さの寸法は【図-1】に示すように、列線の最端屈曲部から末端までの長さとし、その寸法は、網目寸法の1/3以上 (17mm以上) とする。

6 角度

角度は【図-1】に示すように、列線の屈曲部の角度とし、その角度は85°を標準とする。



外観

材料

- 亜鉛めっき鉄線製ひし型金網に用いる材料は、JIS G 3547 の SWMGS-2、SWMGS-3、SWMGS-4 に適合したものとす。
- 列線の表面には、きず、き裂、剥離、その他の使用上有害な欠点及び色むらがあってはならない
- 列線は、形状が正しく、編みはずれがあってはならない
- 列線は、途中につながりがあってはならない

亜鉛付着量

線径	亜鉛付着量 (g/m ²)		
	Z-GS2	Z-GS3	Z-GS4
2.00	23 以上	85 以上	147 以上

製造・販売

KOIWA
小岩金網株式会社

111-0035
東京都台東区西浅草三丁目20番14号
TEL 03-5828-7690 FAX 03-5828-7693



www.koiwa.co.jp

お問合せ